

〔2〕 音楽科による実践

(1) 取り組みについての基本的な考え

中学部の生徒は、第二次性徴期を迎え、心身共に大きく成長する時期にいる。この時期は、自分の体の変化にとまどいながらも、より美しいものやより強いものに憧れ、その理想に一步でも近づきたいという思いでいっぱいである。そして、発達年齢に違いはあっても、青年期にさしかかった生徒の多くは、友だちといっしょに共有できる時間や場を求めている。音楽は週 2時間の授業ではあるが、この時間と場が満たされ、学部の生徒全員が一つのものを作り上げていく楽しさや喜びを感じることでできる教科である。また、音楽の時間に学習した歌や演奏技術は余暇利用に生かせ、社会に出てからも心に豊かさや潤いを与えてくれる。

このように、音楽は人の心を解放し、美しいものに感動する感性を育てたり、生活をより楽しいものにしたりする。このような考えから、音楽科では将来を見通しながらも生徒の今の姿を大事にし、1時間 1時間の学習を充実して楽しめる授業づくりをめざした。

(2) ねらい

- ①歌をうたったり、楽器を演奏したりすることに楽しんで取り組もうとする。
- ②音楽を聴いて、美しさや悲しさなどを自分なりに感じる。
- ③友だちといっしょに歌ったり、合奏したりすることに喜びを感じる。

(3) 題材選定の視点

中学部の生徒にとって、今、どんな曲がふさわしいのか、どんな歌をいつ歌うのかなど年度初めに 1年間の指導計画（表-10）を立てることから始まる。題材を選ぶのは教師側であるが、次のことを必ず考慮して設定するようにしている。

- ・今、流行している曲やテレビ、ラジオなどでよく流れる曲、アニメの主題歌など生徒に興味関心のあるもの
- ・中学生の時期に歌っておきたい、知っておいてほしいなど教師側の意図のあるもの
- ・運動会や大山登山、文化祭などの行事と関連のあるもの
- ・体育（リズム）の時間にダンスとして踊る曲を歌うなど、他教科と関連のあるもの
- ・年に 3回のカラオケ大会を生かすと共に、実生活の余暇利用につながるようなもの

(4) 指導の方針と手だて

① 個々の特性を生かす

18名中16名の生徒が音楽が好きと答えており、その理由も歌が好きだから、ドラゴンボールの歌が歌えるから、ピアノを弾くのが楽しいから、カラオケができるからなど、さまざまである。生徒の中には美声の持ち主もいれば、即興で楽器を演奏するのが得意な生徒もいる。そういった生徒には、持ち味や個性が生かせ活躍できる場を作るようにする。

② 繰り返しやパターン化のよさを生かす

授業の流れを同じにすることで、どの生徒にも見通しが持て、安心して授業に臨むことができる。音楽の時間に学習する今月の歌を、どの学級も朝の会、帰りの会で歌うようにしている。時期によっては歌が楽器演奏になることもある。毎日の積み重ねは大きな力になるものと信じている。

③ 音楽鑑賞や生演奏などをなるべく多く取り入れる

よいもの、美しいと思われるものは生徒に多く聴かせたい。また、教師自身による歌や演奏を身近な教材の一つとする。

④ 学級での取り組みを大切にする

学級の課題学習の時間にも鍵盤ハーモニカやオルガンの練習、歌の練習を取り入れる。音楽の授業だけでは足りない分を学級で補うことにより、上達度が増す。また、練習の成果が分かるように評価の表などを作って、生徒の励みとなるような取り組みをする。

⑤ 学習したことを生活の中に還元する

学習したことが音楽の授業の中だけで終わってしまうのではなく、カラオケ大会やお楽しみ会、文化祭などで発表し、生活の中に生かすようにする。また、趣味や余暇につながることも勧めたい。

(5) 指導の実際

上記の方針の基に 3つの題材を取り上げ、それぞれに応じた支援の具体例を述べる。

	ねらい	支 援	生 徒 の 様 子
中学部	中学部に合った言葉や文を考え、全員で作詞をする。	<ul style="list-style-type: none"> • どんな時に歌うのか、どんな理由で作るのかなど教師の思いを知らせ、見通しが持てるようにした。 • 2,3年生には中学部の現在の様子やどんな中学部にしたいか、また今後の希望などを聞き、それを言葉や文にした。 • 1年生は中学部の様子がまだよく分からないので、中学生になった喜びや中学部に期待する気持ちを聞き、それを言葉や文にした。 • 全員の考えた言葉が入るようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> • 中学部の歌を作ることに賛同する生徒が多かった。 • 次々と言葉が出てくる生徒もいたが、すぐに思い浮かばない生徒でも友だちの意見を参考にしたりヒントをもらったりして全員が一つ以上言うことができた。 • M男は作詞家か詩人のように言葉が次々にあふれ出てきた。 • 出来上がったときは自分たちが作った歌ということに誇りと自信を持つことができた。
D A N D A	強弱に気をつけて元気よく歌う。	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒がテレビでよく見ている人気アニメの主題歌である曲を題材とした。 • 難しい曲であるが、最初は細かいまがいはあまりこだわらな 	<ul style="list-style-type: none"> • あまり声を出して歌わなかったK男が笑顔で元気よく歌っていた。 • 繰り返し歌っているうちに上手になり、1カ月近くたった頃には

N 心 ひ か れ て く	いようにする。 ・「DANDAN心ひかれてく」 「ZENZEN気にしないふりし ても」の所は元気よく歌うよう声 かけをした。 ・朝の会、帰りの会で毎日歌うよ うにした。	ほぼ全員が歌えるようになった。 ・曲の盛り上がりの所なので、気 分よく笑顔で歌う生徒が多かった ・生徒のお気に入りの1曲となり 休憩時間によく聞いていた。
き な ん せ 節	鳥取の民 謡に親しみ を持ち、文 化祭で発表 することを 楽しみにす る。	・運動会のダンスや文化祭の傘踊 りで踊る曲を題材とした。 ・日常使わない言葉について説明 し、歌詞の内容が分かるようにし た。 ・文化祭の発表では歌の得意なO 子とS子の2人が歌う部分を作っ た。

(6) 反省と今後の課題

生徒はどの曲にも一生懸命取り組んだが、特に自分の感性に合う曲では、心からの躍動が歌声や笑顔に表れていた。生活経験の少ない中学部の生徒にとって、多くの視点で題材を選ぶことは生徒の成長にとっても、生活の掘がりの面から見てもよいことであると実感している。生徒一人ひとりによって、その表現の仕方は違うが、学校生活のいろいろな場面で音楽を楽しんでいる姿を見かけることができた。

元気中学部

明るくやさしい みんなに会いたいな
 ワクワクふれあい あくしゅをしようよ
 希望と勇気で チャレンジがんばろう
 元気に走ろう どどんと集まれ
 ファイトだ中学部

中学部の歌「元気中学部」

しかし、学校で習った歌しか歌えない、お楽しみ会はいつも同じ歌ばかり、パターン化するよきはあるながら、パターン化してしまうと自分ではなかなかそれが崩せないといった課題も残っている。生徒の中には、卒業後、自分で楽しめる力をつけていくことが難しいと思われる生徒もいる。われわれのめざす姿は、社会に出ても楽しめるような力をつけていくことである。そのためには、楽しいことだけではなく苦しいことがあることも知り、けれどもやってみようという次への意欲につながるような、発達段階に応じためあてを生徒一人ひとりが持つことである。1時間の学習の中で、一人ひとりがめあてを持ったり、一つの題材を通して共通のめあてを持ったりと、その形態はいろいろあってもよい。ただ楽しいだけではなく、難しいけれど頑張ってみようという挑戦する意欲、やった、できたという成就感を生徒が味わえるよう、今後もさらに研究を深めていきたい。

(高木雅子)

表-10

音楽科指導計画

平成 9年度

	題 材	目 標	指 導 内 容
4	<ul style="list-style-type: none"> 校歌 君の新しい朝 中学部の歌を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 口を開け、正しい姿勢で歌う。 リズムを感じながら歌う。 協力して学部の歌を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 発声の仕方 リズム表現 作詞作曲
5	<ul style="list-style-type: none"> DANDAN心ひかれてく 星に願いを ミュージカルを楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> 口を開け、はっきりとした言葉で歌う。 鉄琴やハンドベルで演奏する。 ミュージカルに親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 発声の仕方 音階 ミュージカル
6	<ul style="list-style-type: none"> 晴れたらいいね 星に願いを ミュージカルを楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> 速さやリズムに気をつけて歌う。 鉄琴やハンドベルで演奏する。 ミュージカルに親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 音符、休符 音階 ミュージカル
7	<ul style="list-style-type: none"> 勇気100% きなんせ節 きらきら星、おもちゃのシンフォニー 	<ul style="list-style-type: none"> リズムによって元気に歌う。 郷土の民謡に親しむ。 正しいリズム、速さで演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> リズム 民謡 ピアニカ鼓隊
9	<ul style="list-style-type: none"> マイ フレンド きらきら星、おもちゃのシンフォニー 	<ul style="list-style-type: none"> 音の高さに気をつけて歌う。 正しいリズム、速さで演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ニューミュージック ピアニカ鼓隊
10	<ul style="list-style-type: none"> 勇気100% オブラディオブラダ 大山賛歌 	<ul style="list-style-type: none"> リズムによって元気に歌う。 鍵盤ハーモニカ、打楽器で合奏する楽しさを味わう。 大山賛歌を歌い、大山に親しみをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> リズム 合奏 賛歌
11	<ul style="list-style-type: none"> 勇気100% オブラディオブラダ 弦楽器の音色を味わおう 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭で発表する喜びを味わう。 鍵盤ハーモニカ、打楽器で合奏する楽しさを味わう。 弦楽器の音色に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表態度 合奏 弦楽器(ギター)
12	<ul style="list-style-type: none"> ビートルズを歌おう クリスマスソング カラオケ大会をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ビートルズに親しみ、英語で歌う。 クリスマスに歌える歌を増やす。 自分で選曲した歌を恥ずかしながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌 カラオケ
1	<ul style="list-style-type: none"> 旅立ちの日に 冬の歌を歌おう オーケストラの響きを味わおう 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想をつかみ、感情を込めて歌う。 冬にちなんだ歌に親しむ。 オーケストラの曲に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちを込めた歌い方 オーケストラ
2	<ul style="list-style-type: none"> そのままの君で 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業や進級の喜びを込めて歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちを込めた歌い方
3	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式の歌 オーケストラの響きを味わおう カラオケ大会をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラの曲に親しむ。 歌う楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラ